

錦橋 個別補修計画

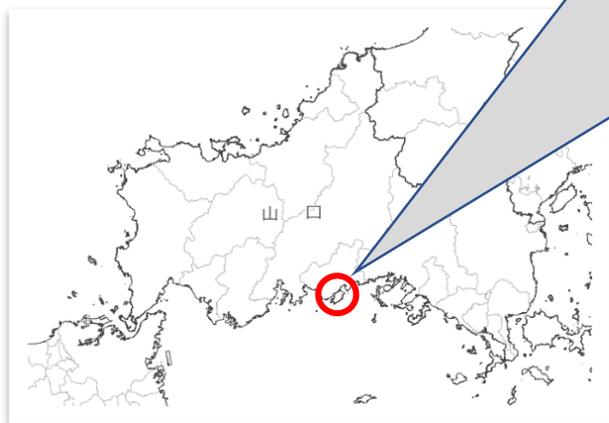


令和4年度版

■架橋箇所



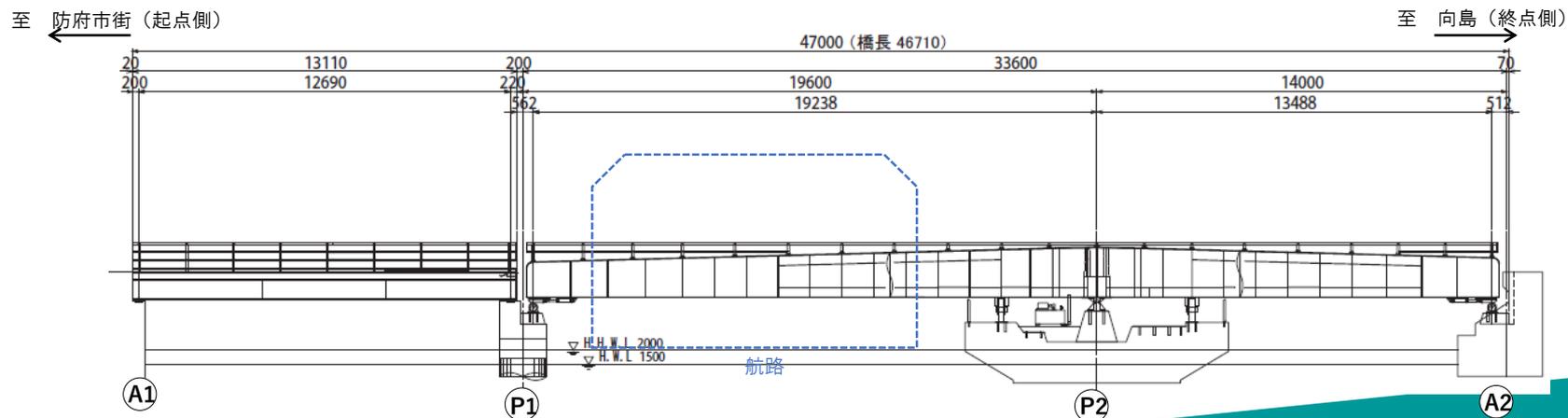
防府市問屋口
(緯度34.02027, 経度131.58059)



「この地図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである」

■ 橋梁諸元

管理事務所	防府土木建築事務所	橋種	鋼橋
路線名	一般県道 防府停車場向島線	径間	3径間
橋長	46.7m	上部工形式	鋼単純鈹桁（第1径間） 鋼2径間連続鈹桁（旋回橋）（第2-3径間）
幅員	7.1m（全幅員）	下部工形式	逆T式橋台（A1, A2） TRC橋脚（P1, P2）
架橋年	1969年（昭和44年）	基礎工形式	鋼製杭（A1, P1, P2, A2）
交差物件	中関航路		



■計画期間

- ・100年

■計画の見直し

- ・10年以内

■維持管理方針

- ・「予防保全型」維持管理

■部材毎の維持管理方針

鋼	上	部	工	予	防	保	全	排	水	装	置	事	後	保	全			
下	部	工	予	防	保	全	道	路	照	明	事	後	保	全				
基	礎	工	事	後	保	全	遮	断	機	事	後	保	全	※				
高	欄	事	後	保	全	各	種	信	号	灯	事	後	保	全	※			
舗	装	事	後	保	全	(海	上	・	陸	上)	事	後	保	全	※	
支	承	予	防	保	全	油	圧	設	備	事	後	保	全	※				
落	橋	防	止	予	防	保	全	可	動	橋	制	御	盤	事	後	保	全	※
伸	縮	装	置	予	防	保	全	操	作	室	事	後	保	全	※			

※旋回の動作確認のため、1か月に1回程度の頻度で試運転を実施

■維持管理上の留意事項

・ 海岸付近

- 鋼上部工塗装の早期劣化
- コンクリート部材の塩害による損傷

・ その他

- 既存塗膜に鉛・PCBが含まれる
- 支承に橋軸直角方向のズレが生じている



主桁写真
塗装の早期劣化、塗膜剥離



橋台写真
錆汁を伴う剥離・鉄筋露出

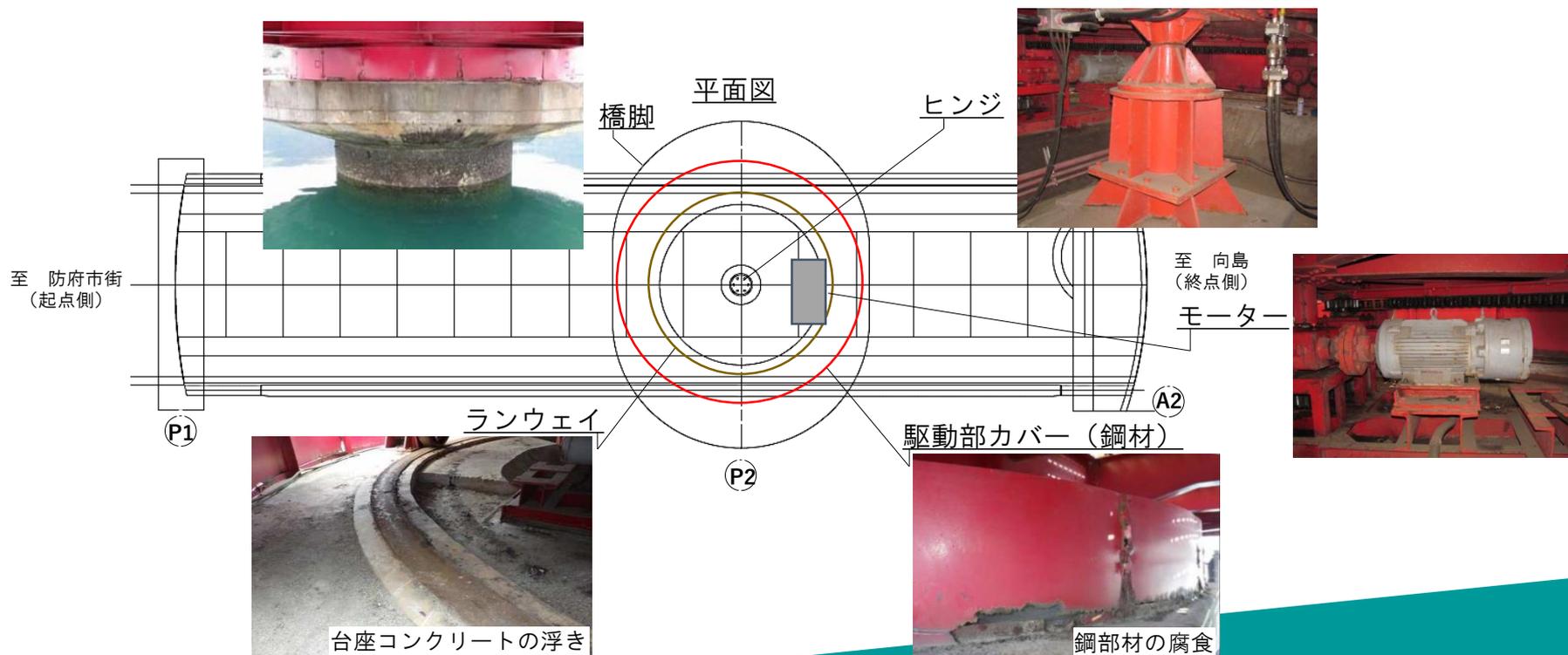


支承本体写真
橋軸直角方向のズレ

■維持管理上の留意事項

・ 旋回駆動部

- 定期的にグリスアップなどの保守作業が必要
- ランウェイの台座コンクリートにうきが発生
- 駆動部カバーの鋼部材に腐食が発生



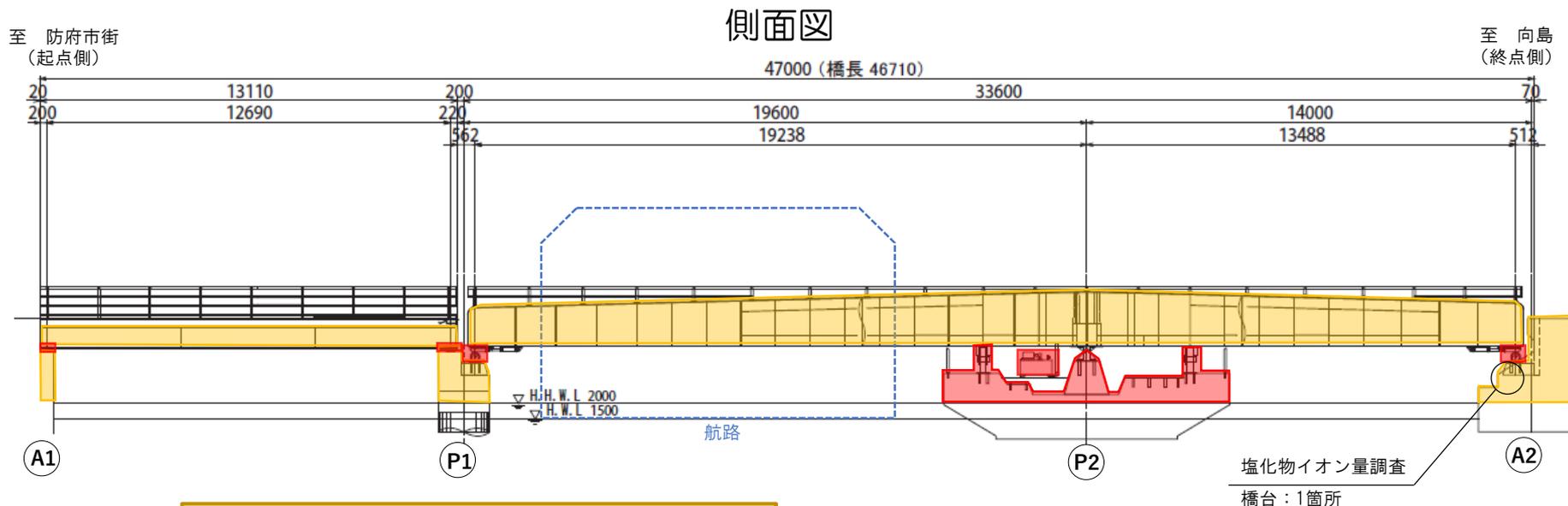
■点検計画

- ・ 山口県橋梁点検要領（案）に基づき、5年に1回の頻度で点検を実施
 - ※地震など緊急時については適宜実施
- ・ 橋の状態を定期的に把握するため、デジタル技術を活用し、データを蓄積
- ・ 旋回の動作確認のため、1か月に1回程度の頻度で試運転を実施

■調査計画

- ・ コンクリート部材について15年に1回の頻度で塩化物イオン量を実施

■点検・調査方法



●ドローンによる全体の点検

- 小型橋梁点検車 (BT-200相当) により点検する範囲
- ドローンにより点検する範囲

- 上記を基本とするが、下記箇所は直接、視認等により点検を実施する
 - 容易に視認できる箇所
 - 橋座部
 - ドローンにより視認できない箇所及び損傷
 - 損傷の程度等により必要と判断される箇所

■補修方針

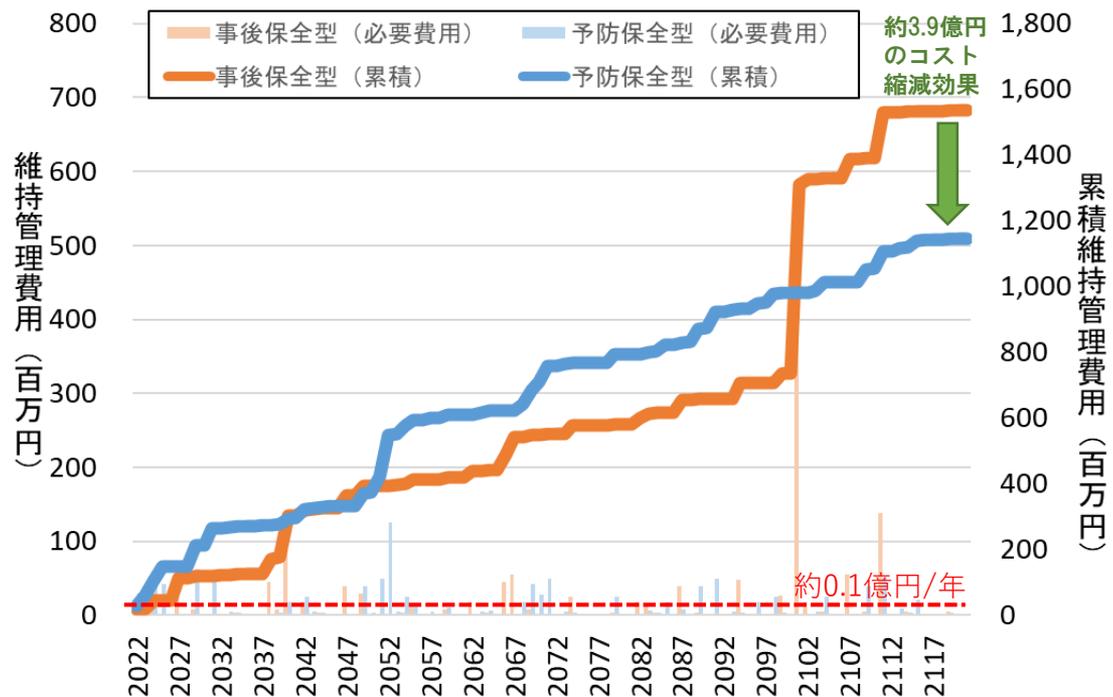
- ・ 2027年までに補修を完了
- ・ 2028年以降、予防保全の維持管理を実施

至 防府市街 (起点側) 側面図								至 向島 (終点側)	
区間名	橋梁形式	鋼単統鉄桁橋			鋼2径間連続鉄桁橋			定期点検	水分調査
	上部工	A1-P1			P1-P2		P2-A2		
	区間長	12.7m			19.6m		14.0m		
	下部工	A1		P1		P2			
2022	下部工				断面修復工				
	設備	防潮板取替工, 作動油取替							
2023	舗装	打換え工			打換え工		打換え工		
	下部工	断面修復工		断面修復工				断面修復工	
	その他	電柱取替工							
2024	上部工	塗替塗装工			塗替塗装工		塗替塗装工		○
	設備	油圧ポンプユニット分解整備							
2025	上部工	塗替塗装工			塗替塗装工		塗替塗装工		
	設備	分解整備							
2026	その他	断面修復工, 塗替塗装工							
2027	設備	作動油取替							
2028	設備								
2029	伸縮装置	伸縮装置取替工		伸縮装置取替工		伸縮装置取替工		伸縮装置取替工	○
	設備	可動橋制御盤更新							
	その他	塗替塗装工							
2031	下部工	表面被覆工		表面被覆工		表面被覆工		表面被覆工	
2121	設備	作動油取替							

※次回調査予定：
2036 (R18) 年度

※点検・調査結果や予算状況により変更の可能性がある

■ 予算



- 予算の平準化
- 100年間で維持管理費約3.9億円の縮減効果

■ 安全

- 架橋環境（塩害地域）、構造特性等に応じた確実な点検、調査

- 異常箇所の早期発見